

教育長様

研究コース	グループ研究Bコース	選定番号	117
校園コード(代表者校園の市費コード)		691550	

代表者 校園名: 大阪市立すみれ小学校
 校園長名: 水津 嘉應 校印
 電話: 06-6933-1210 FAX: 06-6932-5840
 申請者 校園名: 大阪市立瓜破東小学校
 職名・名前: 鬼塚 光晴
 電話: 06-6708-0108 FAX: 06-6799-0359
 代表者校園 事務職員名: 森本 有視

平成30年度「がんばる先生支援」グループ研究 報告書

◇ 平成30年度「がんばる先生支援」グループ研究について、次のとおり報告します。

1	研究コース	コース名	グループ研究Bコース	研究年数	継続研究(3年目)
2	研究テーマ	<p>感動体験を通して、自己の生き方を深める学校行事の創造 —学校行事と道德の関連を目指して—</p> <p>◆ 研究内容のキーワード: 研究の内容をキーワードで記載してください。(【例】学力向上、体力向上等) 自己の生き方を深める</p>			
3	研究目的	<p>○学校行事の事前にその行事の目的に沿った道德教材を学習することで、行事の意義をより深く理解することを目的とする。 ○学校行事に取り組むに当たり他教科と同じように指導案を作成することで、指導上の留意点を考えたり児童の思考の流れを意識したりすることを目的とする。 ○学校行事を取り組むに当たり「がんばりカード」や「ふり返りカード」を活用することで、児童に関心・意欲を高めることを目的とする。 ○学校行事を通して児童が望ましい人間関係を形成し協力してよりよい学校生活を築くことで、不登校やいじめがない学校を創ることを目的とする。</p>			
4	取り組んだ研究内容	<p>いつ、何のために、どのようなことを実施したのかを具体的に記載してください。</p> <p>4月 第1回委員会 (研究内容の共通理解) 5月 第2回委員会 (研究実践校の選定) 6月 第1回全体会 (研究組織編制・事業計画策定)、夏季研修会 7月 第3回委員会 (先行事例の実践報告を通しての研修) 8月 第53回全国小学校学校行事研究東京大会にて大阪市の実践事例発表。 大阪市小学校教育研究会「指導力を高める研修会」で実践事例発表。 大阪市教育センター主催「特別活動研修会」で実践事例発表。 9月 第4回委員会 (先行事例の実践報告を通して研修) 10月 第5回委員会 (研究実践を6委員会のそれぞれの学校で行う) 11月 第6回委員会 (研究実践内容検討) 第2回全体会 (研究推進状況確認、総合研究発表会に向けて)、冬季研修会 12月 第7回委員会 (総合研究発表会発表要項検討) 1月 第8回委員会 (「がんばりカード」「ふり返りカード」検証) 2月 第9回委員会 (総合研究発表会プレゼン検討) 第35回近畿小学校学校行事研究協議会大阪府大会にて実践事例発表。 学校行事部総合研究発表会をすみれ小にて開催。 3月 第10回委員会 (来年度に向けての課題検討) 第3回全体会 (まとめと反省)、春季研修会</p>			

5	成果・課題	<p>申請書に記載した検証方法に基づいて取組を分析し、具体的に記載してください。</p> <p>6委員会の1つである儀式的行事委員会では、創立記念日を通して「周年行事」に取り組んだ。事前に行った「がんばりカード」と事後に行った「ふり返りカード」の結果を比較すると</p> <p>① 「友達と協力して行事を行うことが楽しみか」 事前にしんど回答した児童87%⇒事後にしんど回答した児童93%</p> <p>② 「学校の歴史に興味があるか」 事前にしんど回答した児童61%⇒事後にしんど知りたしんど回答した児童74%</p> <p>③ 「学校が好きか」 事前にしんど回答した児童75%⇒事後にしんど回答した児童80%</p> <p>④ 「地域の方との交流が楽しみか」 事前にしんど回答した児童87%⇒事後にしんど回答した児童91%</p> <p>⑤ 「地域のために活躍できる大人になりたいか」 事前にしんど回答した児童18%⇒事後にしんど回答した児童77%</p> <p>また、「今後学校や地域をよくするためにどのようなことをがんばりたいか」の項目での自由表記では、「校訓で決められた子どもに成長したい」「学校のルールを守る」「先生たちだけでなく地域の方々にも進んで挨拶する」「学校を美しくしたり、地域のものを大切にす」「年上を敬ったり年下にやさしくする」「いじめを許さない」などしんど回答した児童が多しんど。また、大学生や高校生が協力してくれたことを受け、幼稚園や保育園との交流活動を取り入れることを提案した回答もあり、自分の役割を自覚したり、「自己の生き方」を深めたりする体験活動となつていることが分かる結果が出た。本調査は、指導後6か月たつてからも再調査を実施した。①は88%、②は69%、③は85%、④は92%、⑤は68%と低下したものも見られたが、依然としてすべての項目において高い意識がみられる。学校行事部ではこれまでも仲間との本物の体験活動を通して、感動的な行事を提唱してきたが、効果が表れているといえる。また教員にとつたアンケートでは</p> <p>⑥ 「児童にこのようながんばりカードがあると効果的だと思しんどか」 とつても効果的だと思しんど回答した教員56%⇒とつても効果的だつたと回答した教員100%</p> <p>⑦ 「児童にこのようなふり返りカードがあることで変化が見られつと思しんどか」 とつても変化が見られつと回答した教員27%⇒とつても変化が見られたと回答した教員88%</p> <p>⑧ 「道徳の授業を事前しんどすることで体験活動に変化はありましんどか」 とつても変化があると回答した教員67%⇒とつても変化があつたと回答した教員96%</p> <p>学校行事部が推進している「がんばりカード」「ふり返りカード」の有用性や道徳との読み物教材を関連させた体験活動が認知されたといえる。</p> <p>上記にあるような各委員会で取り組みを全小行研東京大会及び近小行研大阪府大会、教育センターや小学校教育研究会主催の研修会並びに総合研究発表会で実践事例を広く発信した。また、「がんばる先生支援」により大阪市の研究活動が成立していることも全体研修会で発表した。各発表会において、参加者にアンケート調査を行うと、指導案の作成については63%、カードの活用については91%、道徳の関連については72%が取り入れてみたいと回答した。成果の検証を行うことにより来年度以降も発信に努めていきたい。また、研究の目的としてあげた「不登校やいじめがない学校は、学校行事を通して創れると感しんどか」という問いに対しては、肯定的な回答が88%であり、昨年度より8ポイント上昇した。学校行事部が大切にしている「なかま体験」が少しずつ効果を上げてきていると考えられる。来年度は、さらに「なかま体験」を充実させる取り組みを実践していきつと考える。学年や異年齢集団との関わりや家庭や地域との連携の中で、自主的・実践的な態度を育み、「心豊かに力強く生き抜く力」の育成を図るべく、学習指導要領の趣旨に沿つた各行事の指導計画の作成を行い、それに沿つて実践研究に取り組んだ。下記の5点において児童に変化が見られた。</p> <p>○様々な集団活動や体験活動の場を工夫することにより、児童がよりよい人間関係を構築し、豊かな人間性を育むことができた。</p> <p>○児童相互・保護者や地域の方々との関わりを通して、地域の一員としての自覚が高まり、社会性を育むことができた。</p> <p>○保護者・地域と連携した活動や人・自然・文化（もの）との関わりを通した豊かな体験活動が児童の学習意欲を高め、協力してよりよい学校生活を築こうとする態度を育つた。</p> <p>○集団活動や体験活動において、2種類のカードを活用して、個のめあて・集団のめあてをもつて活動し、自己評価や相互評価をすることで、主体的に学校生活に生かす態度が育つた。</p> <p>○道徳との関連を推し進めることにより道徳的実践力の場としての学校行事ができつつある。道徳の授業においても新学習指導要領にある体験活動を補うことができつつあり、来年度も道徳の関連を追及していきつたい。</p>								
6	研究発表等の日程・場所・参加者数	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="284 1904 446 1960">日 程</td> <td data-bbox="446 1904 1053 1960">平成 31 年 2 月 15 日</td> <td data-bbox="1053 1904 1228 1960">参加者数</td> <td data-bbox="1228 1904 1503 1960">約 700 名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="284 1960 446 2042">場 所</td> <td colspan="3" data-bbox="446 1960 1503 2042">大阪市立すみれ小学校</td> </tr> </table>	日 程	平成 31 年 2 月 15 日	参加者数	約 700 名	場 所	大阪市立すみれ小学校		
日 程	平成 31 年 2 月 15 日	参加者数	約 700 名							
場 所	大阪市立すみれ小学校									

※上記の内容について、原則としてフォントは10ポイント、A4判2ページ(両面印刷1枚)で作成し、平成31年2月25日(月)までに、大阪市教育センター「がんばる先生支援」担当まで提出してください。(研究資料等を添付)